

## 5万円の日本酒 酔いしれて

### 飛驒の渡辺酒造店、100人に贈呈へ

岐阜県飛驒市の酒蔵「渡辺酒造店」が、一本五万円相当の日本酒を抽選で百人に贈る。コロナ禍の下、頑張る人たちへの「陣中見舞い」として配る。同社の公式ツイッターで応募を受け付けている。



プレゼントする日本酒「飛驒市古川町で

プレゼントするのは、東京五輪・パラリンピックの際に来自る外国人らに味わってもらおうと仕込んだ純米大吟醸酒「驒飛龍(タブリユウ)」の七百二十リットル入り。同社の純米大吟醸では精米歩合40〜50%が主流だが、最新の精米機で18%まで米を削り、明治時代の酒だるで醸造した。搾りも柿渋染めの木綿で自然に滴るのを待つなど、古来の作り方で仕込んだ。複雑なうま味がありながらすっきりした味わいという。

一本五万円(税別)で東京都内の商業施設で販売する予定だっ

たが、五輪の一年延期で出荷のめどが立たなくなった。飲み頃が迫る中、渡辺久憲社長が百本のプレゼントを発案。ツイッターの同社公式アカウントで九月一日に募集を始める。当初三千件ほどを予想していた応募数は初日に十万件に達し、九日現在で十二万六千件を超えた。

渡辺社長は「想像を上回る応募があり驚いた。最新テクノロジーと古式の酒造りを融合させた商品。飛驒ブランドの発信にもつながれば」と話した。応募は二十日午前九時まで。同社のツイッターをフォローし、募集ツイートをリツイートして申し込む。

(瀬田貴嗣)